

町・住民・NPOの協働による
生ゴミ資源化バイオガスプラント

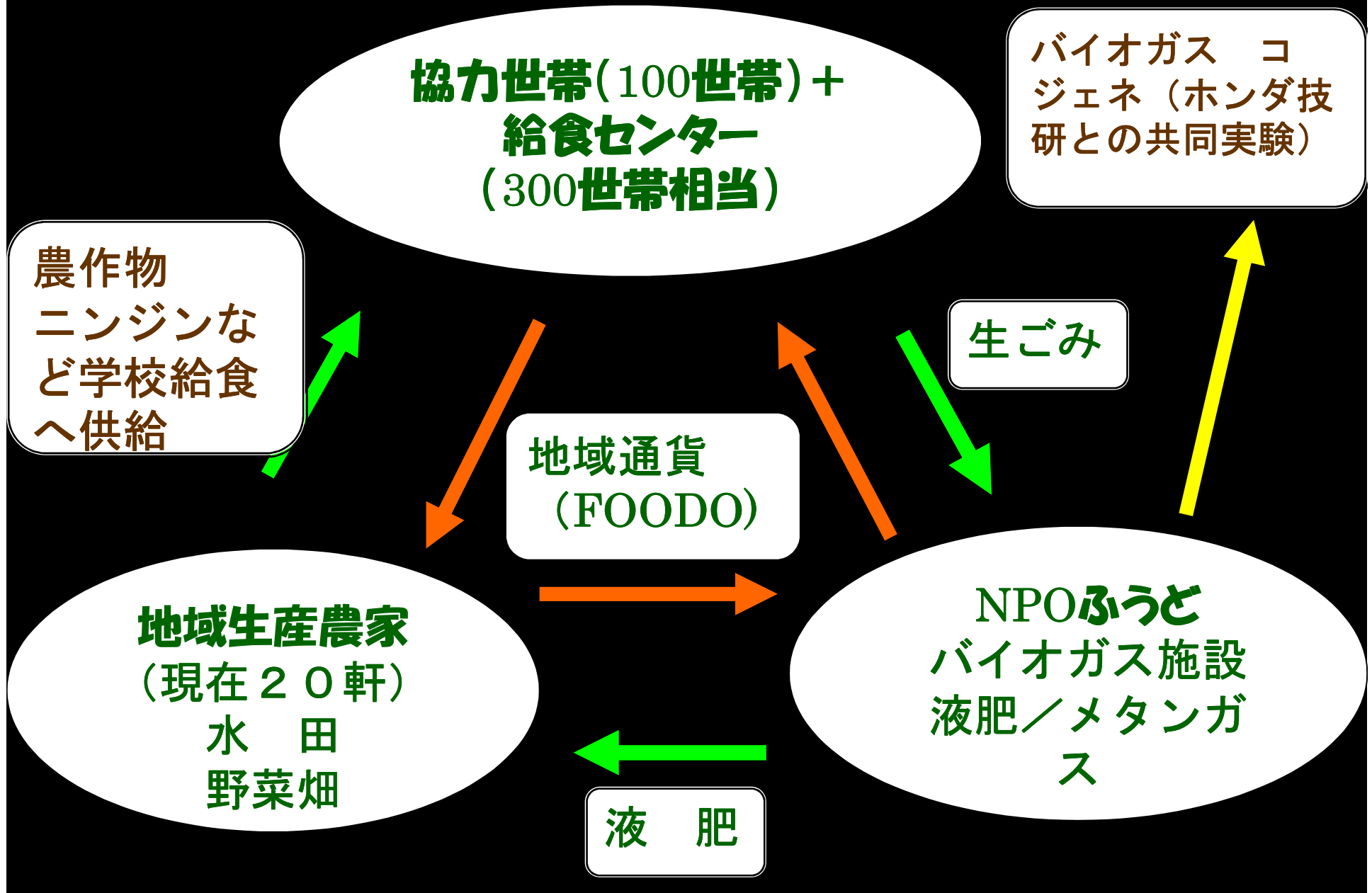
～ 地域社会の玉手箱 ～

特定非営利活動法人
小川町風土活用センター
(NPOふうど)

2010/2/3



生ゴミ資源化の流れ



行政・住民・NPO の役割分担

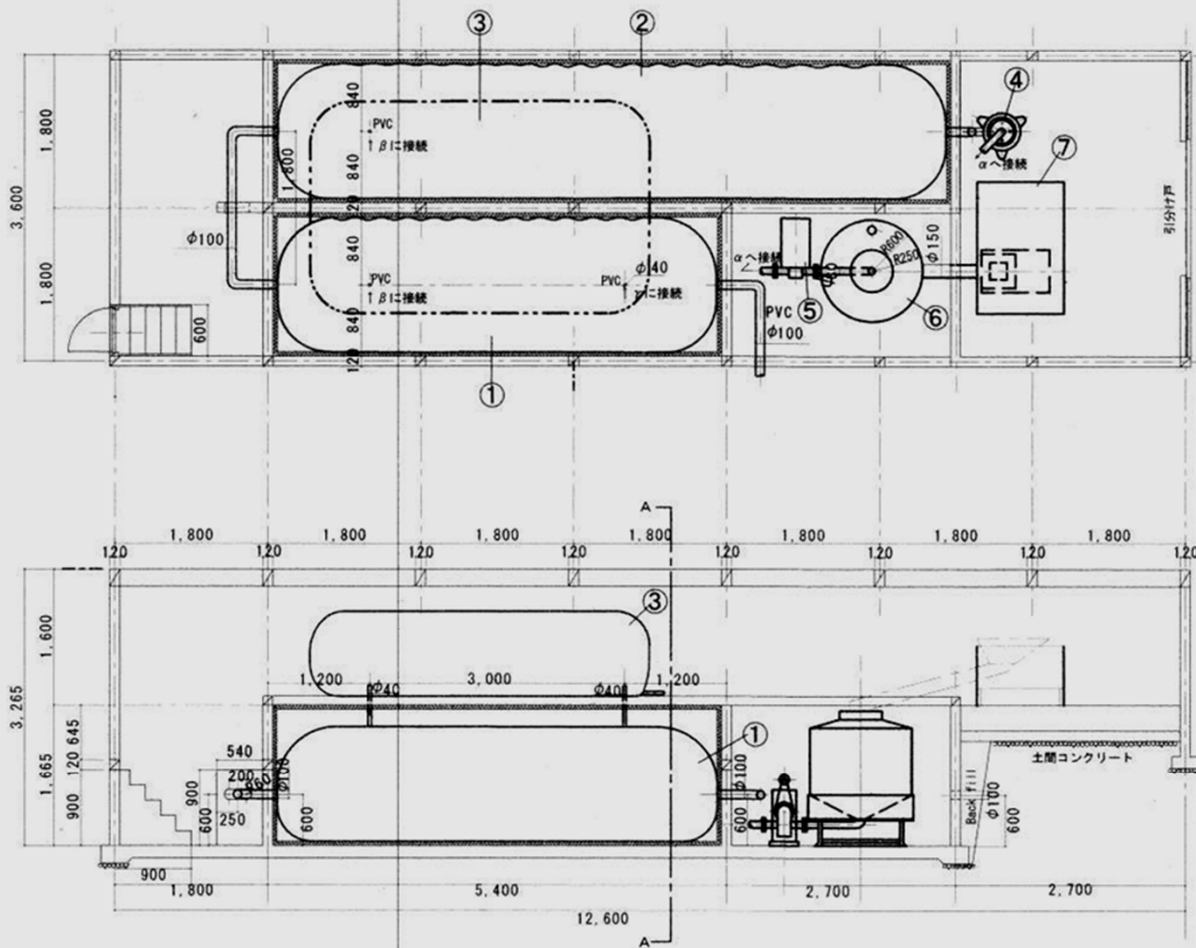
主体	役割	具体的な作業
町民 協力世帯	生ごみの分別	<ul style="list-style-type: none"> ・水切りペール付きポリバケツに生ごみを分別貯留する。 （当該ポリバケツは町が購入配布） ・収集日または前夜に運搬用ポリバケツに移す。 ・ポリバケツは各家庭で洗浄等管理を行う。
町	回収運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・町職員が収集（現在は外部委託）。プラントまで運搬。
NPOふうど	プラント運 転・維持管理 バイオガス・ 液肥の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみのプラントへの投入（町からの業務委託） ・バイオガスは、ホンダ技研と汎用コジェネによる発電給湯実験。 ・液肥は、地域農家へ有償で提供。（主に野菜・米麦の追肥に利用）

NPOふうどの選択

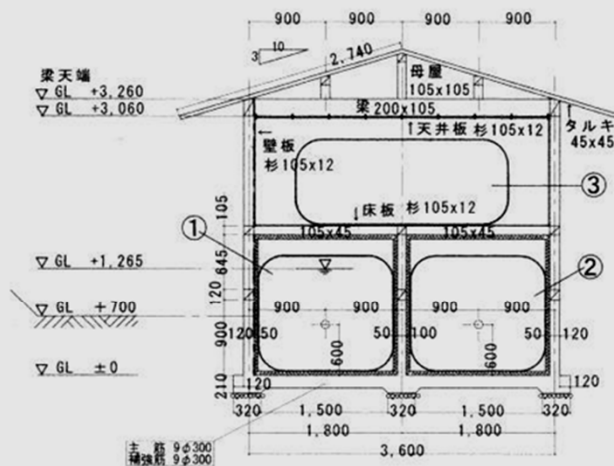
- 1 経済性にすぐれた小中規模の分散・収集・資源化システムをつくる
- 2 地域の経験や技術・資源・産業を活用した低コストの「地場産」施設をつくる
- 3 町民が意欲を持って、分別を継続できる仕組みをつくる。

地場産バイオガスプラント概要

液体堆肥製造施設



番号	装置名	H (mm)	W (mm)	L (mm)	V (m ³) (Vact)
①	液肥貯留/脱硫	1,365	1,365	4,000	8.6 (8.0)
②	主発酵槽	1,365	1,365	7,875	13.0 (12.0)
③	ガス貯蔵槽	1,000	2,500	4,000	10.0
④	マシコーター (微粉砕機)				
⑤	フォーカ'ルダン (ローリ-ホ'ップ)				
⑥	ディスク-サー (粗粉砕機)				1
⑦	生ゴミ用ホッパー				



A-A 断面









生ごみクーポン券 NO.250

5  Food

発行元 わだち会



利用上の注意

- ・この券は、指定された場所以外では使用できません
- ・この券では、金銭の受け渡しはできません
- ・この券は、紛失・破損等されても再発行はできません

生ゴミクーポンの野菜交換会 小川町農業祭にて





生ごみのバイオガス資源化による温室 効果ガス削減効果

(小川町で全町的に実施された場合の概算値)

化石燃料代替効果	238t-CO ₂
化学肥料代替効果	188t-CO ₂
ごみ燃焼燃料節約効果	182t-CO ₂

<総合的な温室効果ガス削減効果>

608 t-CO₂

小川町での生ごみ実証事業で明らかになったこと ～地場産バイオガス技術の持つ社会的意～

- **採算性** 住民、行政、NPOが協働することで、採算性あるバイオマス利用の仕組みが構築できる。
- **収益性** 分散型バイオガスは経済性が高く、収益性も確保できる。
- **温暖化対策** 家庭の生ごみを利用した地域資源循環をすることで温暖化対策に有効な地域振興策となりうる。

NPOが行政と協同することの意味

1. 採算性を重視して公共性のある先進事業を行なう。それによって行政のリスクを軽減する。
2. 複数のセクターや団体の間を縦ではなく横につなぐ役割をもつ。